

平成26年度

年間事業報告

(上期)

社会福祉法人 清和会  
三浦しらとり園

# 平成26年度 三浦しらとり園の状況（目次）

I 総括	P. 1
1 利用者の状況	P. 10
(1) 月別入退所状況	
(2) 入退所の状況	
(3) 年度別経路別入退所の状況	
(4) 市町村別入所者の状況	
(5) 児童相談所（圏域）別入所者の状況	
2 入所者の年齢別・性別等の契約状況	P. 13
(1) 年齢別・性別の状況	
(2) 在所期間の状況	
(3) 障害程度区分の状況	
II 利用者の支援	
1 地域サービス事業の状況	P. 14
(1) 短期入所	
(2) 通所（自立訓練（生活訓練）を含む）の状況	
(3) 日中一時支援事業の状況	
III 支援の実施状況	
1 施設入所支援の状況	P. 16
(1) 児童課の状況	
(2) 生活第1課の状況	
(3) 生活第2課の状況	
2 生活介護・自立訓練（生活訓練）（日中一時支援事業利用者を含む）の状況	P. 19
(1) 活動内容	
(2) 支援体制	
(3) 支援計画	
(4) 作業収益金	
(5) グループ編成	
3 強度行動障害対策生活支援事業	P. 21
4 心理支援（個別面接、行動観察）の状況	P. 22
5 理学療法の状況	P. 23
6 相談支援事業の状況	P. 24
7 ボランティアの受け入れ	P. 25
8 オンブズパーソン施設訪問	P. 25
9 三浦しらとり園家族会	P. 26
10 実習生/研修生受入れ状況（4月～9月）	P. 27
(1) 受け入れ件数	
(2) 受け入れ内訳	
11 派遣研修実績	P. 28
(1) 外部派遣研修実績	
(2) 内部研修実績	
12 防災・避難訓練	P. 30
13 洗濯業務の状況	P. 30
14 給食業務の状況	P. 30
(1) 食事の形態別人数	
(2) 食事の種類別人数	
15 医療の状況	P. 32
(1) 利用者検診状況	
(2) 入退院の状況	
(3) 診療所利用状況	

# I 総括

## 1 三浦しらとり園の概略

当園は、昭和38年1月に精神薄弱児施設「神奈川県立長沢学園」（定員100名）として開設し、昭和58年4月に県立社会福祉施設再整備拡充計画「やまゆり計画」の第1号施設として、児童施設40名に成人施設（更生）120名、通所部門15名を加え、三浦半島の在宅福祉サービスの拠点施設として「神奈川県立三浦しらとり園」として開設されました。平成2年には在宅精神薄弱児・者施設利用普及事業を開始し、短期入所事業や緊急一時保護を行うなど横須賀・三浦地区の中で大きな役割を果たしてきています。平成15年4月には今までの措置制度に替わる利用者との契約による「支援費制度」が導入され、11月には「県立社会福祉施設将来展望会議報告書」の中で、当園は民間委託されるべき施設として位置づけられました。

平成18年4月から障害者自立支援法が施行され、まず短期入所事業が新法による事業実施となり、平成20年4月から障害者自立支援法に基づく指定障害者支援施設として完全移行しています。サービス内容は施設入所支援94名、生活介護101名、自立訓練（生活訓練）6名、短期入所定員18名としています。

平成21年6月には、指定管理者制度の導入が園及び家族会に発表され具体的な動きがスタートし、社会福祉法人清和会を含む4法人が応募しました。22年4月には5名の委員からなる「指定管理者制度外部評価委員会」が2回開催され、5月に松沢知事をトップとした「県庁改革会議」が開催され、指定管理事業者候補法人として社会福祉法人清和会が選定され、6月に開催された県議会定例会で正式に指定管理者として議決されました。8月には指定書を交付され、23年3月30日には引継式が挙行され、4月から新施設長に浅井一志を迎え、社会福祉法人清和会による運営を開始しています。

この時点における定員は施設入所支援88名、生活介護95名、自立訓練（生活訓練）6名、短期入所24名、知的障害児施設支援40名（うち4名短期入所）です。

平成24年4月には児童福祉法等の改正等により知的障害児施設は、他の障害児施設を含めて「福祉型障害児入所施設」に一本化され、18歳以上の加齢児については「経過的施設入所支援サービス費」、「経過的な生活介護サービス費」による報酬単価が示され、平成29年度末までに成人施設等への移行を図ることが要請されています。

平成25年3月31日で、県職員及びかながわ共同会職員の派遣が完了し、25年4月より清和会単独での運営となり、この年には50周年の記念行事を開催しています。今年度（26年4月）からは、新規事業として「三浦しらとり相談支援事業所」をスタートさせています。

## 2 運営について

### (1) 組織・職員等の体制について

社会福祉法人清和会では、平成25年12月に大嶋理事長が逝去され、浅井常務理事の浅井一志が、翌年1月に開催された緊急理事会で当分の間、理事長に就任しましたが、平成26年2月に開催された理事会で正式に理事長に就任しました。

平成26年4月には、新たに加藤芳明施設長を迎え、課長職1名、新採用職員17名（幹部職員を除く）を加え新たにスタートしました。

新採用職員に対しては、生活寮での実地体験研修を2月から行い、3月17日～18日で業務の基本となる座学研修を実施しています。

5月には、3月に受講できなかった新採用職員4名に基本研修を行うとともに、6月・7月には主に新採用職員を対象に救急法やハイムリック法、8月には摂食嚥下医療実務研修等を行い、9月には夜勤業務研修や感染症研修を行って、新人職員に必要な研修を手厚く実施しています。今年度についても、「安全・安心」を柱に運営を行い、寮長を中心に中堅職員が新採職員をカバーしながら丁寧な運営を行っています。平成27年度に向けては、8月に一部の採用内定職員の体験研修を実施しています。

### (2) 相談支援事業所の設置・運営について

相談支援事業所については、神奈川県としても実施数が非常に少なく、県・横須賀市からも事業所の起ち上げに対する期待もありました。

当園としては前年より準備を行い、指定管理外の自主事業として県に届出の上、平成26年4月より「三浦しらとり相談支援事業所」の名称で、本館2階の職員室の一角で相談支援専門員1名により事業を開始しました。事業内容は計画相談支援及び障害児相談支援で、上半期の契約者数は50名となっています。

10月からは、法人として2カ所目となる「鎌倉やまなみ相談支援事業所」を、障害者生活支援センター鎌倉清和において開設することとしています。

### (3) 利用者の入退所や短期入所等の状況について

#### ① 利用者の入所について

入所については児童課（児童）に女子4名の入所がありました。児童は児童養護施設からの措置変更児童（措置）が2名、児童養護施設から病院（小児精神病棟）を経由しての措置が1名、在宅からの措置が1名であった。3名が横須賀市児童相談所からの措置であり、県域における女子待機者の少なさがめだっています。

横須賀市にある民間障害者支援施設の改築にあたり、行動障害のある男性利用者を2ヶ月間程度受け入れてもらえないかとの依頼があり、丁寧な調整を行った上で平成26年9月15日より当園7寮（強度行動障害対応寮）の居室を一部改修の上、短期入所として受入れを行っています。また、3か所の児童相談所から緊急一時保護（児童福祉法33条）として4人の児童を9月末日現在で延72日間の受入れを行っています。保護理由は虐待や家族の疲弊等です。

## ② 利用者の退所について

退所については、児童課（児童）で1名の退所がありました。養護学校高等部を卒業し、加齢児として措置延長中であつたが、県外の障害者支援施設（静岡県）に入所することができました。

## ③ 在宅支援（短期入所・日中一時）の状況について

在宅支援である短期入所（1泊以上の利用）については、今年度上半期までの実績が1,556件と昨年度（平成25年度）の上半期実績1,292件に対して264件の増となっており、一昨年度（平成24年度）の1,031件からは約50%の増加で、順調に利用を増やすことができています。

今年度も横須賀市を中心に積極的な対応を図ることができており、横須賀・三浦圏域の中での在宅支援の拠点的な役割を果たせています。利用理由としては介護者（家族）の高齢化に伴うレスパイトや介護者の入院等によるものが多くなっています。

日中一時（泊を伴わない利用）については、横須賀・三浦圏域での実施事業所の増加により減少傾向にあります。今年度の上半期実績は621件で、昨年度（25年度）上半期440件からは伸びていますが、24年度の695件から比較すると微減傾向となっています。

## (4) 利用者支援について

### ① 食事について

食事については、保健食生活委員会を月に1回開催し、寮と厨房（エリアマネージャーや現場マネージャーを含めて）との連携を図り、丁寧な意思疎通を図るようにしています。また、「誕生日リクエストメニュー」を実施し、利用者からの要望に応え、栄養士が直接、寮に赴いて利用者から話を聞き給食の改善に生かしていく取り組みを進めています。

食形態については、普通食・一口大・きざみ・超きざみ・ミキサー食・ソフト食の6種類で利用者の状態によって、より適切な食事を提供できるようにしているほか、低脂肪食や減塩食、糖尿病食、アレルギー食にも対応しています。さらに25年2月より、各寮利用者の摂食・嚥下状態の確認のため、「巡回指導」として週に2回程度、昼食時に歯科医師・歯科衛生士・理学療法士・管理栄養士で各寮を回り、月に1回歯科室で検討会を開催することとしています。歯科医・歯科衛生士の視点（摂食・嚥下、口腔ケア）、理学療法士の視点（食事姿勢等）、管理栄養士の視点（栄養ケアマネジメントや食事形態）から意見を出し合い、個々の利用者が安全に食事ができるような支援につなげる試みを継続しています。また、清和会の各施設の食事の質の向上を図るために、月に1回、清和会の栄養士が集まり給食担当者会議を引き続き開催しています。

今年度の10月からは、選択食の実施方法を、従来食数を利用者数の約半数ずつ

提供していたのを改善し、事前に利用者の希望を聞いた上で、その食数を提供することとしています。

## ② 医療体制について

医療については、社会福祉法人湘南福祉協会に業務委託し、湘南病院との連携の中で「三浦しらとり園診療所」の運営を行っています。

週8コマ（1コマは午前または午後）の歯科及び4コマの精神科をはじめ、内科、外科、耳鼻科、脳神経外科、婦人科の診療をおこない、当園の医療を担っています。看護師（准も含む）は6名、歯科衛生士1名、事務1名の体制で、利用者の健康管理については、内科検診、歯科検診、尿検診、耳鼻科検診等を実施し、12名の入院者については、1名を除いては湘南病院ですべて受け入れています。

入院患者は4名が肺炎に罹患し、嚥下の検査入院等が2名、卵巣腫瘍の手術や大腸のポリープ切除術を行なった者もいました。

リハビリテーション体制については、13名の利用者について理学療法士を中心にリハビリテーション体制（加算）をとり、専門的な機能訓練を行っています。

## ③ 日中活動（生活介護・自立訓練）について

当園の日中活動は、生活介護と自立訓練で9グループに分かれ、主に自閉症の利用者を中心として個別課題に取り組むスキルグループ、園外での長・中・短距離の歩行活動を中心とした運動グループ、手工芸や陶芸、教材課題や、園内歩行、マッサージ、リラクゼーションを中心とした園内活動を行うグループ、生活上のスキルを獲得させ作業活動や外出を行う自立訓練グループがあり、それぞれ利用者の適性を評価してふさわしい活動を提供しています。

## ④ 強度行動障害支援専門員について

当園では、神奈川県の実施する事業として、一般の民間施設では入所が難しい著しい行動障害などを示す知的障害児者に対して、「神奈川県強度行動障害対策生活支援事業」の対象者として支援を行っています。県事業対象者以外に支援の必要な利用者については、園で要綱を定め、準事業対象者として支援プログラム等の検討を行っています。

当園での事業対象者は3名、準事業対象者は4名で、専門的なスキルに基づく直接支援やカンファレンス等を通して職員に対する助言を行っており、個別の課題についても対応しています。また、園内職員を対象に外部アドバイザーを招いての事例研究会を実施しています。

さらに、横須賀・三浦地域の施設職員や学校関係者等の支援技術向上のための公開講座を開催し、地域の他施設や学校、関係機関等からの行動障害に関する相談を積極的に受け、専門的な助言や支援を行っています。

## ⑤ 心理職の活動について

心理職としては、園内利用者の個別面接や個別支援、行動観察等を行っているほか、ソーシャル・スキル・トレーニング(SST)やセカンドステップ(いじめ等防止のための教育プログラム)を取り入れた心理支援を行っています。

SSTやセカンドステップでは、他者の気持ちや考えを相手に伝えることなどを練習する機会を提供しています。また、関わりの難しい利用者に対応する中で、職員がストレスを抱えたり悩んでしまうことも多く、グループでの利用者支援に対する話し合いを心理職が設定して、職員が感じていることや効果的な対応方法などを共有し成果をあげています。

## ⑥ リスクマネジメントについて

リスクマネジメントについては、リスクマネジメント委員会を中心にヒヤリハット報告書の活用を継続し、併せて事故報告及び苦情受付等を行っています。

今年度上半期では842件のヒヤリハット報告書が提出されており、昨年度上半期の769件より上回っており、ヒヤリハット報告書を提出する意識は十分身についています。

事故報告については今年度上半期40件あり、昨年度上半期の34件、一昨年度35件からは増加している。内容的には、打撲や骨折、裂傷などの外傷が20件、落葉などの誤与薬が17件と、例年と同じような事故構成になっているが、転倒によるものが多く、利用者の高齢化が進行する中で見守りの意識を強化するよう職員に周知を図っています。また、寮の床を柔らかな素材のものに貼替えたり、居室にカーペットを敷くなどの対応をしています。

苦情については、ご家族から1件、近隣の方より1件、事業所が市に連絡したものが1件の計3件がありました。内容としては、ご家族からトイレの改修に関する要望1件、近隣の方からの排水溝の騒音がうるさいというものが1件、園の診療所の利用がしにくくなったというものが1件あり、それぞれ適切に対応し解決を図っています。

## ⑦ 家族との連携について

ご家族に対しては、利用者の個別支援計画について丁寧に説明し様々な要望等を伺い、必要があれば訂正していくなどのやりとりを重ねるなかで、支援計画に対する同意を得るよう努めています。また、互いによりよい関わりができるように帰宅や面会、来電などの際には併せて情報交換を行うよう心掛けています。また、互いによりよい関わりができるように帰宅や面会、来電などの際には併せて情報交換を行うよう心掛けています。

隔月で開催されている家族会には、毎回50数名のご家族の参加があり、園としての報告や情報発信を行い、行事等の機会も活用しながら連携を図っています。また、毎年、「家族アンケート」を実施し、園に対する意見や要望を伺い園全体

に周知を図るとともに改善すべき点は迅速に対応するなど取り組んでいます。

今年度の家族会では、8月に職員3名のチームにより利用者支援の実践報告を行い、日頃の支援の一端を示すことが出来ました。ご家族からは、わかりやすいととても好評でした。

## ⑧ インフルエンザ等感染症について

昨年度については、ノロウィルスの感染者は1人もいませんでした。従来は11月、12月からインフルエンザに罹患する利用者が出てきていましたが、昨年度は2月に児童課の利用児1名が罹患した後、3月後半に入って7寮職員がインフルエンザAに罹患したのを皮切りに、7寮利用者13名が次々と発症し、3月29日に寮閉鎖を行っています。そのため今年度の4月7日に寮閉鎖解除とするまでの7日間、始まりが遅かったために年度をまたいで発症者がいるという事態になりました。当園としては、このような事態は初めての経験でした。

## ⑨ 防災対策について

毎月1回の避難訓練を行っていますが、6月には2回の訓練を実施し、計7回の避難訓練を行っています。内容としては、火災避難訓練・地震想定訓練・夜間想定訓練・通報訓練等を実施しています。

地震訓練では津波を想定し、1階利用者が2階に避難しています。津波の対応としては、当園は標高17メートルであり、地域に最大級の津波（9～10メートル）が来ても大丈夫であり、津波対応としては防災行政無線の情報を確認しながら1階の利用者が2階に上がる避難が適切であるという助言を横須賀市よりいただいています。

## (5) 人権擁護に対する取り組みについて

### ① 成年後見人の状況について

今年度については、生活課の利用者については3名を除いて全員が成年後見人制度による選任が完了しています。ほとんどが親族後見であるが、金銭管理は弁護士、生活監護は家族というような役割分担をする例も4名出てきており、社会福祉士や司法書士、行政書士、弁護士といった第三者後見が選任されている利用者は13名で16%となっています。課題としては、児童課で生活する成人利用者（加齢児）の後見人の選任を進めていくこと、後見人が家族で高齢等により第三者後見等が必要な方が増えており、状況をみて手続きを依頼していくことが必要となっています。

### ② オンブズパーソン活動について

今年度上半期で、公式には5回来園いただき、利用者との面接や利用者の意見交換を行う「話そう会」への参加、生活寮の視察、家族との交流等を行っています。

オンブズパーソンとして園に対する助言をいただき、実際には活動日以外にも様々な行事等に参加いただき、積極的に関わってもらっています。

### ③ 人権研修の実施について

新採用職員全員に、当園の人権に対する取り組みやマニュアルに関する研修を行い、知的障害福祉協会主催の人権研修にも参加させています。

今後は、10月中旬に園内の人権委員による園内の研修会を開催し、後半には外部講師を招いて虐待防止をテーマに研修を行う予定です。

### ④ 人権委員会の開催について

人権委員会を開催し、人権アンケート部会において当園の支援部職員全員に対して職員自己評価アンケートを実施しました。結果について整理した上で支援の振り返りを行っていきます。また、長期利用者及び短期入所利用者のご家族に対アンケートを実施し、意見等を今後の施設運営や利用者支援に反映させていくことにしています。さらに、身体拘束部会では、身体拘束ゼロに向けた進行管理を行っていくこととしています。

## 3 研修・実習・ボランティア等の状況について

### (1) 研修(人材育成)について

園内での研修としては新採用職員を主な対象としたハイムリック法やAED研修、吸引ノズル研修、感染症などの緊急時の対応研修を丁寧に実施しています。公開基礎講座としては、外部講師を招き「自閉症の障害特性に関する基礎研修」や「アンガーマネジメント-自分とストレスと上手につきあうために-」などを行っています。

### (2) 実習生について

実習生については保育士研修は、9校より、実人数16名、延日数190日の受入を行い、社会福祉士研修は2行より実人数2名、延日数48日の受入を行っています。研修生については、神奈川歯科大学から計6回で50人の受け入れを行っています。

### (3) ボランティアについて

ボランティアについては9月末までの間に、日中活動ボラ・環境整備ボラ・縫製ボラ・通学付添ボラ・利用者支援ボラ・余暇支援ボラ等延1,095名の方に活動していただきました。一昨年度は88園芸会、昨年度はふよう会・東中里紫重会、今年度については、二・三の会とつくし会の2団体が神奈川県社会福祉協議会会長表彰を受賞しています。

昨年度は、小学校への通学ボランティアは小学生が1名となってしまったことから活動を休止していたが、今年度は通学時の人数も増え北下浦ボランティアセンターに依頼し、再開しています。

## 4 社会福祉法人清和会の他施設との交流について

今年度については、4月の清和祭バザー（センター）、7月の鎌倉花火納涼祭バザー（鎌倉清和由比）、8月の清和納涼祭（センター）の行事に職員・利用者ともに参加し行事を楽しみました。また、今年度からオープンデーを「しらとり祭」という名称に変更し、法人全体行事という位置付けで10月に開催します。

夏休み期間には、当園の児童課利用者3名が「鎌倉わかみや」、「鎌倉由比」、「鎌倉清和園（特別養護老人ホーム）」での実習を行い、「鎌倉清和園」で宿泊体験をするなど、児童の将来に向けた有益な取り組みを図ることができました。

## 5 その他

### (1) コンピューターシステムについて

記録のシステムとして総合ソフト「ミスヘルパー」を導入していますが、昨年度から日誌等の情報共有等には「ファイルメーカー」を導入し試行してきています。具体的には「園内予定表」「日誌」「夜間連絡票」「おしらせ」のデータベースについて園内LANで共有しており、今年度はリスクマネジメント委員会と協働しながら「インシデント報告書」「事故報告書」「入院報告書」などの作成を行っています。システムプロジェクトチームを中心に研修を行いながら取り組んでおり、10月からは会議室等の予約表を加えていくことを計画しています。

### (2) 職員に対する腰痛研修の実施について

安全衛生委員会において、当法人の理学療法士を講師に腰痛研修を開催しています。

### (3) 洗濯業務について

昨年度は、社会福祉法人神奈川厚生協会 貴峯荘ワークピアに洗濯業務を委託していましたが、今年度から社会福祉法人清光会の清光園に委託しています。

## 7 県立障害福祉施設あり方検討委員会の動向について

平成25年5月より、県立施設及び指定管理施設に対するあり方検討委員会が開催され、法人としても傍聴をするなど関心を持って経過を追ってきました。

平成26年1月には報告書が出されましたが、当園は①民間施設では対応困難な重度重複等の知的障害児・者を受け入れ ②診療所を併設し、医療的ケアが必要な利用者に対応し ③短期入所事業などにより地域生活支援に積極的に取り組み④近隣の民間施設へのバックアップ機能を担っている、等の理由により、「県立指定管理施設として存続することが望ましい。」と記載されています。

ただし、「当園は横須賀市（中核市）に立地し、利用者の多くが横須賀市の利用者であり、障害福祉サービス事業所の指定権限が中核市に移行していること、また、横須賀市が児童相談所設置市であることを踏まえて、今後の園のあり方については市と話し合っていく必要がある」と整理されています。

当園の今後のあり方については、建物の老朽化なども視野に入れ慎重に協議・検討を行っていく必要があり、園内では「三浦しらとり園中・長期計画策定プロジェクト」を立ち上げ、指定管理後の進捗状況の確認等を行っています。

# 1 利用者の状況 (9月30日現在)

## (1) 月別入退所状況

ア 児童課(40名定員)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初日在籍	26	28	29	30	29	29						
入所	2	0	2	0	0	0						
退所	0	0	0	1	0	0						
月末在籍	28	28	30	29	29	29						

イ 生活課(88名定員)

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初日在籍	83	83	83	83	83	83						
入所	0	0	0	0	0	0						
退所	0	0	0	0	0	0						
月末在籍	83	83	83	83	83	83						

## (2) 入退所の状況 (平成26年4月1日～平成26年9月30日の状況)

ア 児童課

(入所)

(単位：人)

性別	児相	県域					政令・中核・その他						計	
		中央	平塚	鎌三	小田原	厚木	小計	横浜	川崎	横須賀	相模原	県外		小計
男						0							0	0
女			1			1			3				3	4
計			1			1			3				3	4

(退所)

(単位：人)

性別	児相	県域					政令・中核・その他						計	
		中央	平塚	鎌三	小田原	厚木	小計	横浜	川崎	横須賀	相模原	県外		小計
男						0			1				1	1
女						0							0	0
計						0			1				1	1

(一時保護)

(単位：人/日)

性別	児相	県域					政令・中核・その他						計	
		中央	平塚	鎌三	小田原	厚木	小計	横浜	川崎	横須賀	相模原	県外		小計
男	実人員	1		1			2			1			1	3
	延日数	12		11			23			29			29	52
女	実人員					1	1						0	1
	延日数					20	20						0	20
計	実人員	1	0	1	0	1	3	0	0	1	0	0	1	4
	延日数	12	0	11	0	20	43	0	0	29	0	0	29	72

イ 生活課

(入所)

(単位：人)

行政機関 性別	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町				計
男									0
女									0
計	0	0	0	0	0				0

(退所)

(単位：人)

行政機関 性別	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町				計
男									0
女									0
計	0	0	0	0	0				0

(3) 年度別経路別入退所の状況 (平成26年4月1日～平成26年9月30日の状況)

ア 入所

(単位：人)

経路	21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
	児童	成人										
在宅(学齢)	1		4		4		2		4		1	
在宅(無職)				1								
在宅(作業所)												
在宅(就労)												
在宅(テイクアウト)												
通所施設												
入所施設					1		1	3	1		2	
ケアホーム												
グループホーム												
病院											1	
その他												
計	1	0	4	1	5	0	3	3	5	0	4	0

イ 退所

(単位：人)

経路	21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度	
	児童	成人										
在宅(学齢)					2		1		1			
在宅(無職)												
在宅(作業所)			1									
在宅(就労)												
在宅(テイクアウト)												
通所施設												
入所施設	1		1	1	3		5	1			1	
ケアホーム			3		1	1						
グループホーム							1					
老人ホーム		2		1		1				1		
病院												
その他		1		5				1		1		
計	1	3	5	7	6	2	7	2	1	2	1	0

(4) 市町村別入所者の状況 (26年度は平成26年4月1日～平成26年9月30日の状況)

ア 市町村別入所状況 (児童)

(単位：人)

		市町村										政令・中核・その他					合計		
		鎌倉市	三浦市	葉山町	藤沢市	大和市	茅ヶ崎市	座間市	中郡二宮町	湯河原町	南足柄市	小計	横浜市	川崎市	横須賀市	相模原市		県外	小計
内訳	男	1					1	1				4	2		6		2	10	14
	女	1		1		3	2		1	1	1	9			5		1	6	15
計		2		1		3	3	1	1	1	1	13	2		11		3	16	29

イ 市町村別入所状況 (成人)

(単位：人)

		市町村									政令・中核・その他					合計	
		鎌倉市	三浦市	逗子市	葉山町	藤沢市	茅ヶ崎市	秦野市	湯河原町	小計	横浜市	川崎市	横須賀市	相模原市	県外		小計
内訳	男	1	4	2	2				1	10	3	3	30			36	46
	女	3	6	2	1	1				13	3	3	18			24	37
計		4	10	4	3	1			1	23	6	6	48			60	83

(5) 児童相談所(圏域)別入所者の状況 (平成26年4月1日～平成26年9月30日の状況)

ア 児童相談所別状況 (児童)

(単位：人)

		児童相談所別						政令・中核・その他					合計	
		中央	平塚	鎌三	小田原	厚木	小計	横浜市	川崎市	横須賀市	相模原市	県外		小計
内訳	男	3	2	1	1		7			7			7	14
	女	6	1	2	1		10			5			5	15
計		9	3	3	2		17			12			12	29

イ 圏域別状況 (成人)

(単位：人)

		障害保健福祉圏域別						政令・中核・その他					合計	
		横須賀三浦	湘南東	湘南西	県央	県西	小計	横浜市	川崎市	横須賀市	相模原市	県外		小計
内訳	男	9				1	10	3	3	30			36	46
	女	12	1				13	3	3	18			24	37
計		21	1			1	23	6	6	48			60	83

## 2 入所者の年齢別・性別等の契約状況 (9月30日現在)

### (1) 年齢別・性別の状況

#### ア 児童課

(単位：人)

性別 \ 年齢	～6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19以上	計
男		2						1	1	3	1	1	1	4	14
女					1	2		1	3		1	4	2	1	15
計		2			1	2		2	4	3	2	5	3	5	29

	男	女	全体
平均年齢	18歳5月	15歳5月	16歳11月
最年少	7歳5月	10歳1月	
最高齢	37歳7月	22歳0月	

#### イ 生活課

(単位：人)

性別 \ 年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	計
男		2	6	20	12	5	1	46
女		2	6	10	13	5	1	37
計		4	12	30	25	10	2	83

	男	女	全体
平均年齢	47歳8月	48歳8月	48歳1月
最年少	25歳7月	24歳0月	
最高齢	73歳0月	72歳4月	

### (2) 在所期間の状況

#### ア 児童課

(単位：人)

性別 \ 期間	～0	1～2	3～4	5～9	10～14	15～	計	平均在所期間
男	2	2	1	1	5	3	14	9年4月
女	4	4	4	2	1		15	3年7月
計	6	6	5	3	6	3	29	6年4月

#### イ 生活課

(単位：人)

性別 \ 期間	～0	1～2	3～4	5～9	10～14	15～	計	平均在所期間
男	1	2	2	1	4	36	46	20年4月
女	1	1			9	26	37	20年6月
計	2	3	2	1	13	62	83	20年5月

### (3) 障害程度区分の状況

#### ア 児童課

(単位：人)

性別 \ 障害区分	6	5	4	3	2	1	計	平均障害程度区分
男	4						4	6.00
女		1					1	5.00
計	4	1					5	5.80

※ 措置児童で認定区分審査を受けていない児童を除く

#### イ 生活課

(単位：人)

性別 \ 障害区分	6	5	4	3	2	1	計	平均障害程度区分
男	34	11	1				46	5.72
女	34	3					37	5.92
計	68	14	1				83	5.81

## Ⅱ 利用者の支援

### 1 地域サービス事業の状況

#### (1) 短期入所

ア 契約者数（平成26年9月30日付）

(ア) 児童 (単位：人)

性別	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	藤沢市	その他	計
男	7	2	3	2				14
女	4		2	1				7
計	11	2	5	3				21

(イ) 成人 (単位：人)

性別	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	藤沢市	その他	計
男	20	2	1	2	1	1		27
女	9	2	2	4		1		18
計	29	4	3	6	1	2		45

イ 短期入所の状況

(ア) 児童 (単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	実人員	6	7	4	5	7	4							33
	延件数	9	9	6	5	9	5							43
	延日数	20	21	15	11	24	12							103
女	実人員	0	2	2	4	6	2							16
	延件数	0	3	2	6	8	3							22
	延日数	0	6	4	12	17	6							45
計	実人員	6	9	6	9	13	6							49
	延件数	9	12	8	11	17	8							65
	延日数	20	27	19	23	41	18							148

\*生活課利用を含む

(イ) 成人 (単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	実人員	22	24	26	25	26	26							149
	延件数	35	38	37	39	43	39							231
	延日数	112	122	124	130	143	142							773
女	実人員	14	16	16	19	17	17							99
	延件数	21	38	34	32	34	32							191
	延日数	81	121	106	105	115	107							635
計	実人員	36	40	42	44	43	43							248
	延件数	56	76	71	71	77	71							422
	延日数	193	243	230	235	258	249							1408

## (2) 通所(自立訓練(生活訓練)を含む)の状況

13名の利用者が、月曜日から金曜日までの毎日家族の送迎で通所しています。

ア 契約者数の状況(平成26年9月30日付) (単位:人)

□	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	藤沢市	その他	計
男	9(0)				1(0)			10(0)
女	3(0)				0(0)			3(0)
計	12(0)				1(0)			13(0)

( )は、自立訓練(生活訓練)で外数

イ 利用実績 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	実人員	10 (0)	10 (0)	10 (0)	10 (0)	10 (0)	10 (0)							60 (0)
	延日数	196 (0)	182 (0)	183 (0)	190 (0)	185 (0)	181 (0)							1117 (0)
女	実人員	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)							18 (0)
	延日数	63 (0)	58 (0)	62 (0)	63 (0)	58 (0)	59 (0)							363 (0)
計	実人員	13 (0)	13 (0)	13 (0)	13 (0)	13 (0)	13 (0)							78 (0)
	延日数	259 (0)	240 (0)	245 (0)	253 (0)	243 (0)	240 (0)							1480 (0)

( )は、自立訓練(生活訓練)で外数

## (3) 日中一時支援事業の状況

ア 児童 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	実人員	9	10	6	10	9	11							55
	延件数	23	24	18	30	21	24							140
女	実人員	8	7	7	8	8	9							47
	延件数	21	20	18	22	29	26							136
計	実人員	17	17	13	18	17	20							102
	延件数	44	44	36	52	50	50							276

\*生活課利用を含む

イ 成人 (単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	実人員	6	9	9	8	9	6							47
	延件数	23	27	27	24	30	22							153
女	実人員	7	7	6	8	10	8							46
	延件数	29	29	32	35	38	29							192
計	実人員	13	16	15	16	19	14							93
	延件数	52	56	59	59	68	51							345

### Ⅲ 支援の実施状況

#### 1 施設入所支援の状況

##### (1) 児童課の状況

###### ア 1寮(児童男子寮)

児童課1寮は20名定員で運営されています。現在、小学1年生から高校3年生まで11名の児童が、近隣小学校の特別支援学級、近隣中学校の特別支援学級、養護学校に通学しています。また18歳以上の加齢児4名の利用者が共に生活しています。

1寮の決まりを作り、寮内で起きる様々な問題に関して「してはいけないこと」(「しらとり園のルール」)を具体的に提示し、利用者・職員ともに共通のルールを存在させました。そのことで相互に暴言・粗暴行為を注意しあうことができ、ルールを守らない利用者には自主的に近寄らない人間関係が作られていきました。ルールを守らない利用者は孤立することとなり、人間関係について考えることとなりました。

高校3年生の2名の児童について、1名は家庭引き取りのうえ在宅生活となり、民間企業への就労が決まりました。他1名の方については成人施設へ移行するための準備を行っているところです。他の過齢児については、11月に1名、3月に1名それぞれ退所し、同施設内の成人寮へ入所しました。

寮内環境改善・整備については、居室の間仕切りとドアの設置(すでに2人部屋に仕切られているかげろう居室を更に仕切り、ドアを設置し個室化)、4人部屋(すいせい・しのめ)を仕切るカーテン設置、居室(あけぼの・かげろう・すいせい・しのめ)の窓カーテン設置、食堂内パーテーションの設置、学習機の導入などを行いました。

###### イ 2寮(児童女子寮)

児童課2寮も定員20名定員で運営されています。現在、中学1年生から高校3年生まで12名の児童が近隣の養護学校や中学校の支援級に通学しています。また18歳以上の過齢児1名の利用者が共に生活しています。9月までは過齢児が2名在籍していましたが、1名は退所が決まり同施設の成人施設へ入所いたしました。

利用者の障害状況も様々な中、児童相談所、学校、障害福祉課等の関係機関とも連携を取り、必要に応じてはカンファレンスを行いながら支援を進めています。高校3年生の2名については老人介護施設に就労し、地域のGHで生活することとなり3月末でしらとり園を退所されました。

現児童課は軽度の障害児が多く、地域移行を早い段階から児童相談所や障害福祉課等の関係機関と連携を取っていく必要があります。集団生活の中でも個別支援を大切にし、それぞれの特性に合った課題を提供し個別化した刺激の少ない環境を整えることで、周りの人からの刺激を受けず落ち着いた生活を送れるようにしています。

今年度は寮内の環境整備でひまわり部屋の2人部屋を個室化、やまゆり部屋の壁紙交換、寮内カーテンの全てを交換、トイレ内の一部カーテンをアコーディオンカーテンに変更を行いました。

##### (2) 生活第1課の状況

###### ア 5寮(成人男性寮)

5寮は、生活全般にわたり介助が必要な高齢・病弱な利用者の方が多い生活寮です。てんかん発作や転倒による怪我を防ぐ為、寮内環境整備の一環としてダイルームと食堂をクッションフロアにしました。また4月には低床ベッドを1台導入し、ベッドからの転落の危険性のある利用者の夜間時間帯の安全確保と共に支援員の腰痛等への負担軽減につなげています。利用されている方たちの高齢化に対してより快適な生活をしていただくための支援の一環として、昨年引き続き7月にオムツの実践講習会に参加し、支援技術の向上を図りました。園内外の高齢者支援分野の研修と共に、寮内でのOJT制度(職場内訓練制度)等も活用しながら人材育成に努めています。

###### イ 6寮(成人女性寮)

6寮は、現在13名の利用者が生活しています。加齢に伴い生活全般にわたり介助が必要な方が生活されています。車椅子利用者9名、歩行不安定者が多数いる中、診療所、理学療法士との連携を図り、身体機能の維持に努めています。利用者の日々の体調変化を見逃さないよう一日3回の検温を実施し、感染症予防のため床、手すりなどの定期的な消毒を行うなど疾病予防に努めています。

6 寮棟及び居室の施錠を解放し、利用者の状況に応じて風通しの良い環境を提供する支援を行っております。夜間のベッド柵（4点の身体拘束）については、寮会議において利用者の安全を第一に検討し、状況に応じての拘束解除に取り組んでいます。また、利用者の車椅子からトイレや入浴、起床、就寝に至る移乗の介助では、職員の腰痛防止や利用者の安全面に配慮した支援に心掛け、低床ベットを取り入れた支援も行っています。その他、職員の資質向上のため、園内研修や高齢者の施設外研修にも積極的に参加しています。

今後も引き続き、特別養護老人ホームの選択肢の窓口を広めて、利用者のニーズに応じた移行を進めていきます。

### (3) 生活第2課の状況

#### ア 3寮(成人男性寮)

現在16名の利用者が生活されています。園内を単独で移動されている方や常に転倒のリスクを抱えている方、また、嚥下の機能が低下されている方や異食傾向の方など、様々な特性の利用者が在籍されています。

後見人の同意を得て身体拘束を実施している利用者は2名います。短縮や解除には至っていませんが、転倒防止のために職員の少ない夜間、早朝の時間帯に居室施錠の実施をしています。

日々の生活のなかでは余暇の充実、特に外出には力を入れています。昼食外出や近隣の商店への外出以外にも今期は、箱根への温泉日帰り旅行や水族館やアミューズメントパークへ少数グループでの外出を実施しました。今後も安心安全を念頭に様々な体験を通して、はりのある生活を送れることを目指してまいります。

転倒時に、より重篤な負傷を負わないように9月にダイルームと廊下の床を明るい木目調のクッションフロアーに貼り替えました。これにより寮内が明るい雰囲気にもなりました。また、短期入所、日中一時については、様々な障害特性の利用者の方を、地域支援課と連携を図りながら受け入れています。

#### イ 7寮(成人男性寮)

当寮は、平成17年度に実施された「目的別寮編成」により「自閉的傾向のある方、行動障害のある方に必要な支援を重点的に押し進める」と明確化されており、現在は、強度行動障害対策事業の対象者2名を含む16名の利用者の方が生活されています。

人権擁護の推進といった課題に対しては、後見人の方の同意のもと、実施している利用者の方への身体拘束について、4名の内1名の方が、日課や支援方法の見直しにより8月末にて解除することが出来ました。また、寮会議の度に「人権に配慮した支援」といった内容で職員への情報発信、再周知を図っています。

生活の質の向上といった課題に対しては、毎月寮通信を発行しご家族への情報発信することや家族会の開催に合わせて寮懇談会を実施し、利用者の生活に反映できるように、ご家族・後見人の方との情報交換を行っています。また、開かれた寮を目的として面会や外泊の際には、可能な限りご家族の方には寮内に入らせていただいています。8月には、閉鎖的になりがちな当寮で、女性の実習生の方が実習を行なわれました。

8月下旬には、行動障害を呈する在宅利用者の方の受入れを想定し、短期入所用の部屋に壁と扉を増設する工事を実施しました。9月には、期間限定で近隣施設から行動障害を呈する利用者の方の受入れを行いました。健康面においても食事や睡眠状況の確認に加え、排便チェック票を用い、毎日全利用者の方の排便状況を確認しています。

職員のチームワークといった課題に対しては、利用者の方の障害特性を踏まえ、分かりやすい日課や整理された環境に配慮すること、チームを設定し専門職員との連携を図りつつ多角的な視点で支援することを継続しています。

#### ウ 4寮(成人女性寮)

強い拘りや他害傾向等の行動障害を持つ方が生活されています。日課や個別対応等の環境調整をし、落ち着いて生活出来るように支援しています。身体拘束許可を受けて居室施錠対応・タイムアウトをしている方が5名います。2名の利用者は夜間の解錠に取り組み1日2～8時間の短縮を行うことが出来ました。タイムアウトを行っている利用者も日々の支援に努め、半期前よりも半分の拘束回数で生活しています。今後も拘束短縮に努めてまいります。今期より生活空間の拡張を図りました。中庭を解放し、利用者自ら中庭に出て椅子に座りくつろぐ、そんな空間の提供も出来ました。利用者一人ひとりにあった生活空間の提供ができるようにしています。

一人ひとりの利用者の生活を高めていくには、職員の専門性の向上は必須です。私たち職員は常に学び支援に活かして行かなければなりません。トレーニングセミナーに参加し、多くを学びました。寮職員内で報告会を実施し、日々の支援に活かしています。今後は園内研修を行って行く予定です。

余暇では一人ひとりにあった余暇を楽しめるように配慮しています。園内喫茶に行きお茶を楽しむ、地域の美容院に行き美容を受けることが出来た利用者が1名います。今後も利用者に応じて生活の幅を広げていきます。食事では誤嚥等に配慮し専門職員と連携を取り、個別の見守り支援を行い、安心して食事がとれています。夜間の転倒がありました。早急に床面に緩衝剤を引き寝具の見直しを行い、安全対策をとりました。理学療法士とも相談し安全な生活を目指しています。

## エ 8 寮(成人女性寮)

身体拘束時間の短縮につきましては、食事に対しての意欲が強い方に対し、食事時間前後の拘束をとらせて頂いていましたが、職員の意識改革と見守りの方法を変える事ではほぼ解除することができました。しかしその他のケースについては時間的に横ばいの方が多いので支援の改善が必要とされています。居室内での転倒事故防止として、2名の方の居室に緩衝材のマットを敷きました。

皆さまの生活全般につきましては、日中活動の他、余暇として1カ月毎の予定を作り、平均して外出や出前などをとり、生活にメリハリを感じられるようにしています。また、より良い支援ができるよう、できるだけ内外の研修に参加しています。そこで得た知識・情報については皆で共有できるように会議等で発表しています。今回は発表者として3年にわたってチームで取り組んできた強度行動障害者に近い方の日中活動の取り組みを県の実践報告会や家族会で発表しました。ひき続き一人ひとりの課題をクリアできるように職員で取り組んでいきます。

## 2 生活介護・自立訓練(生活訓練)(日中一時支援事業利用者を含む)の状況

三浦しらとり園の日中活動では、利用者が安心して楽しく充実した活動出来ることを目的とし、主に月曜日から金曜日の日中に、創作活動・機能訓練・作業訓練・社会生活訓練等、利用者に必要な支援を行っています。

さらに、日中活動において安心できる支援のため、日中活動で起きたインシデント(ひやり・はっと)について、日中活動委員会で報告、検証し、日中活動担当職員と寮職員との連携し、より安全な日中活動を提供するよう取り組んでいます。また当園では、スムーズな日中活動を運営できるように日中活動委員会を設けています。

### (1) 活動内容

日中活動は各利用者の特性に応じてグループ編成し、午前と午後に分けて実施しています。

日中活動の内容は、活動支援班が主催する作業訓練・手工芸・スキルトレーニング・運動機能訓練・歩行・余暇等が主な内容となります。

また、ボランティアの協力により、陶芸・革工芸・フラワーアレンジメント・ダンス・フライングディスク活動等を定期的におこなっています。

### (2) 支援体制

日中活動の支援は、地域支援課活動支援班職員及び地域サービス班職員と各寮の職員で行っています。また、支援にあたってはボランティアの協力をいただき、様々な活動に取り組んでいます。

### (3) 支援計画

日中活動の支援方針・活動内容等の支援計画は、生活介護アセスメントに基づいて、寮担当者との協議の上、利用者個々の支援計画を作成し、支援計画の実施状況の把握とともに、6か月に1回以上モニタリング及び見直しを行っています。

### (4) 作業収益金

日中活動において、創作的活動・作業訓練等により生じた作品は、バザー等で販売しています。作品販売等によって生じた作業収益金は、参加利用者の活動状況(活動日数や生産能力)に応じ「作業報奨金」として年2回、利用者に戻元しています。

## (5) グループ編成

(単位：人)

グループ名	職員	利用者			グループの特徴	活動内容
		男	女	計		
園内活動 5	3	13	7	20	環境や活動日課等に変更や周囲からの刺激に弱く、こだわりが強いなど見通しのもてる安定した日課の提供が必要な方	構造化された作業環境や作業システムでの、教材課題を中心とした手作業等
長距離	2	7	3	10	ある程度活動や環境の変化に適応出来、手作業が可能で、多くの運動量（5キロ程度）が必要である方	午前：晴天時～園外歩行(5キロ) 雨天時～室内作業 午後：教材課題中心の活動。 缶つぶし等
中距離	4	7	3	10	こだわりは見られるが活動や環境の変化に適応でき、手作業が可能で、3.5～4キロ程度の運動量が必要である方。	午前：晴天時～園外歩行 (3.5～4キロ) 雨天時～体育館歩行 午後：教材課題を中心とした手作業
短距離	5	7	4	11	健康や機能維持のため運動が必要で、集団や課題意識がある程度あり、歩行能力もある程度ある方	午前：晴天時～園外歩行(3キロ) 雨天時～室内作業・園内歩行 午後：園内歩行・ストレッチ・教材課題
園内活動 1	3	5	6	11	健康や機能維持のため運動が必要であり、歩行能力はあるが介助も必要である方	園内（外）歩行・ストレッチ・マッサージ・リラクゼーション（スノーズレン）・教材課題・音楽等
園内活動 2	4	7	6	13	健康や機能維持のため運動が必要であり、補装具を使用しているか歩行能力はあるがほぼ一対一の介助が必要な方。集団の中での待機が難しく寮で待機し、個別に活動を行う必要がある方	園内歩行（車椅子での散策を含む）・ストレッチ・マッサージ・リラクゼーション（スノーズレン）・教材課題等
園内活動 3	2	7	3	10	半個室のブースが4つあり、周囲の刺激の刺激に弱い方も含めて室内の手作業を主に行い、気分転換や脚力低下防止のための歩行などを行う必要のある方	缶潰し・はがき作り、毛糸ほぐし・教材課題・ビーズ通し・歩行・ストレッチ等
園内活動 4	2	2	6	8	静かな環境での作業を好み、手作業を主に行うとともに運動もある程度確保する必要のある方	染物・毛糸ほぐし・ししゅう・教材課題・ビーズ通し・はがき作り・缶潰し・歩行・ストレッチ等
自立訓練	3	5	3	8	将来ケアホーム等の地域移行を目指して、それに見合った生活・作業の訓練が必用な方	地域への移行を目指して、自活訓練棟（ヴィラしらとり）を利用して、地域での生活に必要な生活スキルの向上・社会体験等 陶芸・革工芸・リサイクル作業・製作活動

### 3 強度行動障害対策生活支援事業 (平成26年9月30日付)

強度行動障害の状態にある障害児者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、適切な相談・生活支援を行うとともに、関係機関や家族及び地域との連携をとおして、障害児者の生活を支えることを目指しています。

#### (1) 事業の内容

特に支援の難しい知的障害児者に対しては、強度行動障害対策生活支援事業の対象者として支援をしています。県事業対象以外に支援が必要な利用者については、三浦しらとり園独自に要綱を定め、準事業ケースとして支援プログラム等の検討を行っています。その他、個別の課題については相談という形で支援を行っています。

横須賀三浦地域の障害特性に関する知識と支援技術の向上のために、園内の研修計画に位置づけ公開講座や事例研究会を実施しています。また、他施設及び学校、関係機関等からの行動障害に関する相談に対して、専門的な支援・助言を行っています。

#### (2) 事業対象者への支援

ア 園内における支援対象者数の状況

(単位：人)

	対象者数				計
	児童		成人		
	男	女	男	女	
事業対象者	1		2		3
準事業対象者	1		2	1	4
相談ケース	1	1	3	3	8
計	3	1	7	4	15

イ 支援の状況

(単位：人)

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		計													
		児童		成人		児童		成人		児童		成人															
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女														
個別支援	事業対象者							1						1													
	準事業対象者			7	12	10	10	10	2	13		10		6	80												
	相談ケース			1										1													
	在宅ケース			7	2		12	3		16	2		9	2	13	2	23	1	92								
	計	0	0	15	2	12	0	22	3	10	0	27	2	2	0	22	2	0	0	23	0	2	0	29	1	174	
ケース カンファレンス	事業対象者	3			3	2	1			1	1			2												13	
	準事業対象者	1			3	2	1	1	3	1	1	1		1		2	2								2	21	
	相談ケース	1			7		1	4				5	1		5										3	33	
	在宅ケース	2	1				1			4	1			1	1		3	2							2	18	
	計	7	1	0	10	5	0	5	5	4	0	5	7	3	0	1	7	1	0	7	7	0	0	2	8	85	
日中活動協力					16				15					17												14	86
他機関支援					2				1																	5	

#### (3) 関係機関からの相談及び助言

圏域の入所施設で改修工事が行われるため、行動障害のある入所利用者1名を工事期間中受け入れて欲しいとの依頼があり、9月中旬から2か月程度の受け入れを実施。また、受け入れにあたり、特性や有効な支援方法の見立てをして欲しいとの希望があったため、受け入れ期間中に構造化等の支援を試行し、その評価を伝えていきます。

(4) 行動障害に関する研修及び研究

ア 研修

日時	テーマ等	講師	参加者
4/3	平成26年度新規採用職員研修 『自閉症の特性理解と強度行動障害対策事業について』	当園強度行動障害対策事業担当	法人 新採職員
5/19	公開基礎講座(第1部) 『自閉症の障害特性と構造化について』	発達障害相談・支援センター KANAC センター長 小林倫氏	園内24名 外部45名 計69名
5/21	公開基礎講座(第2部) 『問題行動の捉え方と支援方法』	同上	園内21名 外部42名 計63名

イ 事例検討会

日時	テーマ等	アドバイザー	参加者
9/4	園内支援困難ケースについて、応用行動分析に基づいた支援方法の検討	横浜国立大学 教育人間科学部 教授 渡部匡隆氏	園内職員 11名

4 心理支援(個別面接、行動観察)の状況 (平成26年9月30日付)

相談ニーズに応じて利用者の生育歴、家族関係、生活状況の検討およびアセスメントを行い、利用者に対する関係者の理解を深めます。また、個々の利用者の特性に則した心理的側面からの具体的支援をともに考えます。心理面接では、普段はなかなか職員とじっくり関わることのできない入所者に対して、心理面接室という生活場面とは異なる空間で心理担当職員と一対一で関わる時間を提供し、自分だけの時間を過ごしてもらっています。さらに、SSTやセカンドステップを取り入れて、自分の気持ちや考えを他者に伝えること、他者の気持ちや考えを理解することを練習する機会を提供しています。

(1) 心理支援の状況

(単位:人)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		計													
	児童	成人																								
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女														
心理面接	7	9	2	6	8	1	2	8	9	1	1	7	9	1	1	5	5	1	2	7	10	1	1	104		
在宅			2			1					1												2	8		
計	7	9	0	4	6	8	1	3	8	9	1	3	7	9	1	2	5	5	1	2	7	10	1	3	112	
個別対応※1	4月		5月		6月		7月		8月		9月		計													
	児童	成人																								
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女														
	入所	6	14	5	11	4	11	5	10	1	9	2		10	88											
	在宅			1	1	2	1	2	2		1				11											
その他 ※2												1	1													
計	0	6	0	14	1	6	0	13	0	5	2	11	2	5	0	11	0	1	0	10	0	2	1	10	100	
カンファレンス	4月		5月		6月		7月		8月		9月		計													
	児童	成人																								
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女														
	入所	1	3	6	2	2	3	2	2	5	4	1		1	1	3	2	3	4	1	1	1	3	2	3	41
	在宅	3			1		1		1		1				1				1				1			8
計	1	6	0	6	0	3	0	2	3	1	0	2	2	6	0	0	4	2	1	1	3	3	0	3	49	
日中活動	12		17		17		21		13		17		97													
話そう会					1						1		2													

※1個別対応には来所相談(見学)、セカンドステップ、アセスメントを含む。

※2他施設入所者による短期入所

(2) 継続支援の内訳

(単位:人)

性別	小学生	中学生	高校生	その他※	計
男		3	2		5
女		2	4	1	7

(3) 研修

日時	テーマ等	講師	参加者
5/22	平成26年度新規採用職員研修 「当園における心理業務について」	心理担当 阿部	法人 新採職員
5/22	8寮学習会 「プラダ・ウィリー症候群について」	心理担当 阿部	8寮職員 11名
9/1	平成26年度心理公開講座 「自分のストレスと上手に付き合うためには」	早稲田大学教育学部教育心理学専修教授 アンガーマネジメント研究会代表 本田 恵子氏	園外19名 園内23名 計42名

5 理学療法の状況

当園の利用者は、重度の知的障害のみならず、身体障害や加齢による機能低下などの複合的な障害を持っている方が多い。そのため、支援の他にいわゆる介護（介助）が必要となり、支援の業務よりも介護業務の方が増加している。今後も介護業務が増えることから、職員の介護技術の向上も必要となってくる。同時に利用者のADLの低下、機能低下をいかに緩やかにできるかが課題です。

しらとり園でも、ADLの維持・向上に主眼を置き、主に移動動作を中心にリハビリテーション（以下リハビリ）に取り組んでいる。そのため、アセスメント（評価）やリハビリ計画書もADLを中心に記載している。ADLへのアプローチができない利用者の方には、まず身体機能面に対してリハビリを行っている。これは関節・筋肉の状態（拘縮のレベル）、筋緊張の程度・質（麻痺のレベル）など、ミクロ的な視点からのアプローチである。最後に、職員に対して、介護技術等の助言を行い、間接的な支援をしています。

○ リハビリテーションマネジメント加算の状況

リハビリテーションマネジメントに従って、三浦しらとり園のリハビリテーションに関するマニュアルを作成し、この手順に従って実施している。今年度も10月から6名を増員する計画を作成し、リハビリ加算対象者の目標を20名としている。また、寮内からも利用者の身体（特に歩行）に関わる相談や車いす等の補装具利用に関する相談などリハビリ加算以外の業務が増えている。理学療法の専門性を活かし、職員に対する助言・指導とともに、職員の補助的業務に関わっています。

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	件数	126	120	126	128	126	120							746
女	件数	142	138	144	149	141	130							844
合計		268	258	270	277	267	250							1590

## 6 相談支援事業の状況

### (1) 契約者数

#### ア 特定相談支援事業

(単位：人)

性別	行政							計
	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	その他		
男	6	7	1	6	0	0	20	
女	2	23	1	2	0	1	29	
計	8	30	2	8	0	1	49	

#### イ 障害児相談支援事業

(単位：人)

性別	行政							計
	横須賀市	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	その他		
男	0	0	0	0	0	0	0	
女	1	0	0	0	0	0	1	
計	1	0	0	0	0	0	1	

### (2) 計画相談の実績

#### ア 特定相談支援事業

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画作成	0	4	2	21	9	5							41
計画作成 (更新)	0	0	0	0	0	2							2
モニタリング	0	0	0	0	0	11							11

#### イ 障害児相談支援事業

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画作成	0	0	0	0	0	1							1
計画作成 (更新)	0	0	0	0	0	0							0
モニタリング	0	0	0	0	0	0							0

### (3) 計画相談の状況

相談支援事業は、平成26年4月1日から指定管理協定書第63条に規定する指定管理者の自主事業として実施します。

利用者が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、利用者又は障害児の保護者の選択に基づき、基本相談支援に関する業務およびサービス等利用計画の作成及びそのモニタリングに関する業務を行っています。

平成24年4月の障害者自立支援法・児童福祉法の改正により、原則として平成27年3月末までに、すべての障害福祉サービスを利用している障害者を対象にサービス等利用計画（又は障害児支援利用計画）を作成することが必須になっており、当事業所においてもご本人（ご家族）の依頼により効率的に計画作成を行っています。

また、他相談支援事業所及び他サービス事業所との情報交換及び連携を図るために、横須賀市自立支援協議会ネットワーク連絡会や鎌倉市計画相談連絡会等へも参加しています。

## 7 ボランティアの受け入れ（平成25年4月1日～平成25年9月30日の状況）

（単位：人）

	グループ等の名称	活動内容	延べ人数	備 考
1	八八園芸会	剪定等、園内整備	82	昭和63年より活動
2	つくし会	縫製	60	昭和58年より活動
3	ふよう会	縫製	26	昭和52年より活動
4	さくら会・ふよう会・北下浦ボランティアセンター	ダンスクラブ	20	
5	かきくけこ	縫製	49	平成9年より活動
6	さくらの会（縫製）	縫製	20	昭和51年より活動
7	二・三の会	縫製	37	昭和56年より活動
8	東中里紫重会	縫製	19	昭和50年より活動
9	16mm試写室	映画上映（余暇）	4	昭和63年より活動
10	北下浦ボランティアセンター	余暇支援等	50	
11	佐藤 美津子	ドッグセラピー	1	
12	竹村 公良	陶芸	39	平成12年より活動
13	古知屋政江	フライングディスク	16	平成5年より活動
14	青山 美代子	フラワーアレンジメント	1	平成15年より活動
15	返子高校	園内喫茶・しらとり祭	10	
16	SRF	園内整備・クリスマス会	52	昭和38年より活動
17	NTT	しらとり祭・ふれあいコンサート	4	平成3年より活動
18	横須賀学院	環境整備・吹奏楽	25	
19	その他	しらとり祭等行事ボラ・児童課のキャンプボラ等	20	
合 計			535	

## 8 オンブズパーソン施設訪問

実施日	オンブズパーソン	内 容
4月18日（金）10：35～12：30	木原	家族会参加 今年度活動についての打ち合わせ
6月30日（月）13：30～15：30	木原	日中活動 自立支援グループ はなそう会に参加
7月29日（火）10：00～12：00	木原	児童課 利用者の話し合いに参加（1・2寮）
8月31日（日）13：00～15：30	木原	北下浦ふるさと祭参加（3・7寮）
10月11日（土）10：00～14：00	木原	しらとり祭に参加（5・6寮）
10月 日（ ）11：00～	（予定）	家族会参加にて活動報告
12月 日（ ）10：00～	（予定）	児童課クリスマス会参加（1，2寮）
12月 日（ ）13：30～	（予定）	SRFクリスマス会参加（4・8寮）
2月 日（ ）15：30～	（予定）	実践報告会 に参加
3月 日（ ）11：00～	（予定）	家族会参加にて活動報告

## 9 三浦しらとり園家族会

(1) 家族会は、以下の組織で活動しています。

名称	内容	会員数(名)	規約	会費(月額)	家族会長
三浦しらとり園家族会		127人	有	900円	鈴木堅之

(2) 平成24年5月から、家族会の開催を隔月とし、第三金曜日に開催しています。

園からは、家族会の開催の際には情報提供等を行い連携を図っています。

	家族会	開催日	出席数	備考(園行事等)
4月	定例会	4月18日	43人	新年度スタート
5月	総会	5月17日	56人	レクレーション大会
6月	定例会	6月15日	37人	
8月	定例会	8月17日	46人	
計			182人	

## 10 実習生/研修生受入れ状況(4月～9月)

各大学、保育専門、歯科関係学校より受け入れを行っています。

### (1) 受け入れ件数

	学校数	実人数	実日数	延べ日数
保育実習	9校	16人	107日	190日
福祉実習	2校	2人	48日	48日
研 修	6校	50人	6日	50日
計	17校	68人	161日	288日

### (2) 受け入れ内訳

	学校名	実習/研修 開始日	実習/研修 終了日	実人数	実質 実習/研修 日数	延べ 日数
実習1	聖ヶ丘教育福祉専門学校	6月9日	6月20日	2人	11日	22日
実習2	東京都市大学	6月16日	9月29日	2人	12日	24日
実習3	横浜子ども専門学校	7月14日	7月26日	2人	12日	24日
実習4	鶴見大学短期大学部	7月29日	8月11日	2人	12日	24日
実習5	田園調布学園大学(社会福祉士)	8月5日	9月5日	1人	24日	24日
実習6	県立保健福祉大学(社会福祉士)	8月5日	9月25日	1人	24日	24日
実習7	鎌倉女子大学	8月8日	8月21日	2人	12日	24日
実習8	小田原女子短期大学	8月18日	8月29日	1人	12日	12日
実習9	東京都市大学	8月25日	9月7日	2人	12日	24日
実習10	横浜創英大学	9月8日	9月20日	1人	12日	12日
実習11	田園調布学園大学	9月12日	9月24日	2人	12日	24日
小計				18人	155日	238日
研修1	神奈川歯科大	7月2日		8人	1日	8日
研修2	神奈川歯科大	7月16日		9人	1日	9日
研修3	神奈川歯科大	8月6日		8人	1日	8日
研修4	神奈川歯科大	8月27日		8人	1日	8日
研修5	神奈川歯科大	9月3日		9人	1日	9日
研修6	神奈川歯科大	9月17日		8人	1日	8日
小計				50人	6日	50日
合計				68人	161日	288日

## 1 1 研修実績

### (1) 外部派遣研修実績

清和会採用職員（管理職・中堅・新任等）を対象に外部研修に派遣しました。

(単位：人)

開催日	内容	会場	職員区分	派遣人数
5月28日	高齢者支援セミナー「高齢化による身体機能の変化 介助方法と日常支援で出来る機能維持」	荻野運動公園 会議室	中堅	1
5月30日	県知障協部課長会研修会 「福祉と医療の壁をこえる病院」	保土ヶ谷公会堂	中堅等	2
6月13日	七沢リハビリセンター研修講座「摂食・嚥下リハビリ テーション」	七沢リハビリテーショ ン病院研修室	PT	1
6月16日	県知的障害施設団体連合会主催 「第一回新任職員研修会」	県社会福祉会館 研修室	新任	3
6月18日	サービス事業者等指導講習会	横須賀市役所本館 正庁	管理 職・中 堅等	6
7月2日	県知的障害施設団体連合会主催 「第二回新任職員研修会」	県社会福祉会館 研修室	新任	7
7月10日～11 日	関東地区知的障害福祉関係職員研究大会	茨城県立県民文化セン ター	中堅等	7
7月10日～8月 29日 7日間	県相談支援従事者初任者研修	平塚市民センター他	中堅	2
7月18日	TEACCHプログラム研究会「アセスメントについて」	コニコムプラザ	中堅	2
7月23日	高齢者支援セミナー「口腔ケアの意義と重要性」	荻野運動公園 会議室	中堅	1
7月28日	藤沢養護学校夏季職員研修「障害を持つ生徒へ向けた 性教育の実際」(仮)	藤沢養護学校	新任・ 中堅等	2
8月2日	自閉症トレーニングセミナー	ウィング横浜 ゆめお おかオフィスタワー	中堅	3
8月2日～6日 5日間	自閉症療育者のためのトレーニングセミナー	ウィング横浜 ゆめお おかオフィスタワー	中堅	1
8月6日	県協会研修会「セラピューティックホールド 聖セシリア女子短期大学平本教授	県社会福祉会館	中堅	1
8月27日	高齢者支援セミナー「安全で効率的な食事介助」	荻野運動公園 会議室	中堅	1
8月30日	県総合リハビリテーションセンター研修 高次機能障害セミナー(理解編)	県総合医療会館	中堅	1
9月10日～12 日3日間	触法知的障害者等の地域生活支援を行う施設職員等研 修会	品川フロントンビル	中堅	1
9月12日	ボランティアコーディネーター研修(基本コース)	県社会福祉会館	中堅	1
9月22日	権利擁護研修 成年後見制度の概要	逗子市役所会議室	中堅	1
9月24日	高齢者支援セミナー「福祉用具・正しい利用方法」	荻野運動公園 会議室	中堅	1
計				45

## (2) 内部研修実績

清和会採用職員（管理職・中堅・新任等）を対象とした基礎的な研修を中心に実施しました。

(単位：人)

開催日	内 容	会 場	職員 区分	派遣 人数
4月2日	職員研修（理事長研修）	体育館	新任・ 中堅等	55
5月19日	公開基礎講座① 「自閉症の障害特性と構造化について」	体育館（外部45 人・園内24人）	新任・ 中堅等	69
5月21日	公開基礎講座② 「問題行動の捉え方、支援の方法について」	体育館（外部42 人・園内21人）	新任・ 中堅等	63
5月22日	清和会新規採用・転入職員研修	会議室	新任	4
5月30日	園日誌状況記録（インシデント報告書、フェイスシート）専門 研修（システムプロジェクト委員）	会議室	新任・ 中堅等	19
6月3日	救急救命医療実務研修	体育館	新任・ 中堅等	21
6月10日	園日誌状況記録入力方法研修	会議室	新任・ 中堅等	10
6月11日	園日誌状況記録分析研修（リスクマネジメント委員）	会議室	新任・ 中堅等	11
6月13日	園日誌状況記録入力方法研修	会議室	新任・ 中堅等	15
6月26日	ハイムリック法実務研修	会議室	新任・ 中堅等	34
7月3日				
7月10日				
6月30日	EVAC CHIR(非常用階段車椅子)研修	園階段	新任 等	9
7月4日	腰痛対策講習会	会議室	新任・ 中堅等	15
7月8日	オムツ実践講習会	会議室	新任・ 中堅	20
8月11日	職員研修（理事長研修）	会議室	新任・ 中堅等	43
8月26日	摂食嚥下医療実務研修	会議室	新任・ 中堅等	16
9月1日	公開基礎講座 「自分のストレスと上手に付き合うには」	会議室（外部19人・ 園内23人）	新任・ 中堅等	42
9月4日	強度行動障害対策事業事例検討会	会議室	新任・ 中堅等	13
9月4日	夜勤リーダー・サブリーダー研修	会議室	新任・ 中堅等	16
9月10日	感染症について(丸石製薬(株)松尾氏)	会議室	新任・ 中堅等	31
9月10日～11 日2日間	県立障害福祉施設間交流研修	三浦しらとり園	中堅	1
9月22日	夜勤リーダー・サブリーダー研修	会議室	新任・ 中堅等	9
9月25日	園日誌会場予約システム研修（運営委員会）	会議室	管理 職・中 堅	19
9月26日	園日誌会場予約システム専門研修（システムプロジェクト委 員）	会議室	新任・ 中堅等	16
計				551

## 12 防災・避難訓練

実施月	訓練内容	目的
4月	火災避難集合訓練（周知）	寮活動体制時の避難
5月	夜間想定火災避難集合訓練（周知）	寮活動体制時の避難 * 携帯電話での通報 * 新任職員対象
6月	火災避難集合訓練（周知）	日中活動体制時の避難 * 災害時応援体制確認 5・6寮職員を中心に実施
	非常用階段降下車椅子の実地体験と説明	
7月	夜間想定火災避難集合訓練（周知）	寮活動体制時の避難 * 携帯電話での通報連絡
8月	日中活動中避難集合訓練（周知）	日中活動体制時の避難 * 災害時応援体制確認 * 園外歩行グループとの連絡
9月	地震避難集合訓練（周知）	寮活動体制時の避難 * 停電により電子機器、エレベーター使用不可となった場合の伝令及び避難

## 13 洗濯業務の状況

平成26年度は、社会福祉法人清光会の就労継続支援B型事業所清光園と委託契約を結んで、洗濯業務を実施しています。

洗濯衣類は、集計上は16種類に分類し大小3袋に仕分けして搬出入して取り扱っています。業務上で支障があった場合は、随時事業所と話し合い等を設けて円滑な洗濯業務に努めています。

- 洗濯日は原則週5回（月～金）
- 時間：午前9：30
- コンテナ各寮8個（64個）
- コンテナを運ぶ台車4台

26年度上半期洗濯枚数

（単位：枚）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
洗濯枚数	27,696	33,676	31,317	34,489	29,536	33,462

## 14 給食業務の状況

昨年度同様、選択メニュー・行事食・郷土料理・世界の料理・誕生日リクエストメニューを実施しました。誕生日リクエストメニューについては、7月から実施頻度を月1回から月2回に増やしました。このことにより、成人は月2回、児童と通所の利用者は必ず月1回実施しています。

成人寮では、とろみ剤の使用量の統一を図りました。より安全で、無駄のない使用が目的です。使用量の基本は1%（歯科医師の指示）ですが、各寮・各利用者で調整を行い、委員会又多職種で情報を共有しています。

### (1) 栄養ケア・マネジメントの状況

栄養ケア計画として厨房では、早出しの実施、小分けにして食べるための食器の準備、嗜好対応（辛いものの禁止・ハム・ウィンナー禁）を実施しました。また、栄養状態が低下している利用者や好き嫌いがあり食事が十分に摂れない利用者に対しては、栄養補助食品を購入し提供しています。

多職種では、歯科医師・歯科衛生士・理学療法士・栄養士が各寮月1回程度巡回しました。また、嚥下に関する話し合いを月1回開催しました。話し合いの中では、食事形態や嚥下機能、身体機能に関する相談のほか、特に栄養ケアが必要な利用者について報告しました。

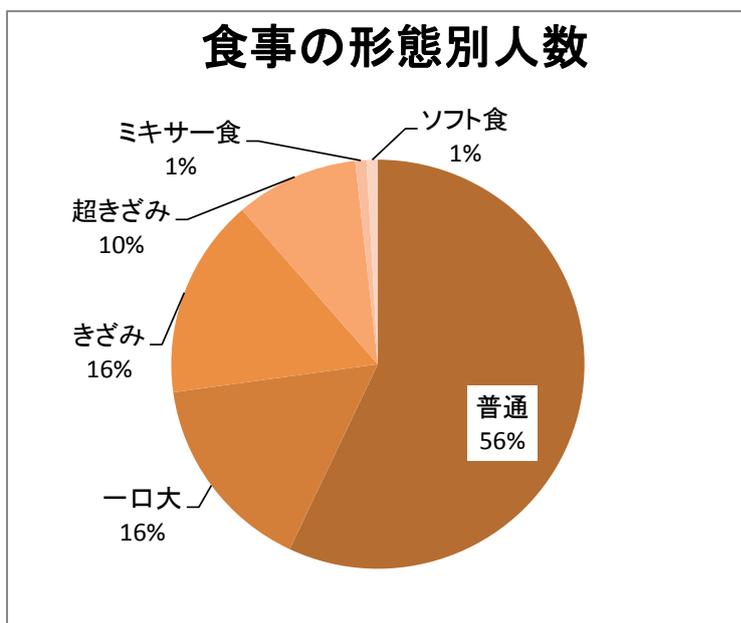
栄養ケア・マネジメント対象

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
男	件数	50	50	50	50	50	50						
女	件数	38	38	38	38	38	38						
合計		88	88	88	88	88	88						

(2) 食事の形態別人数

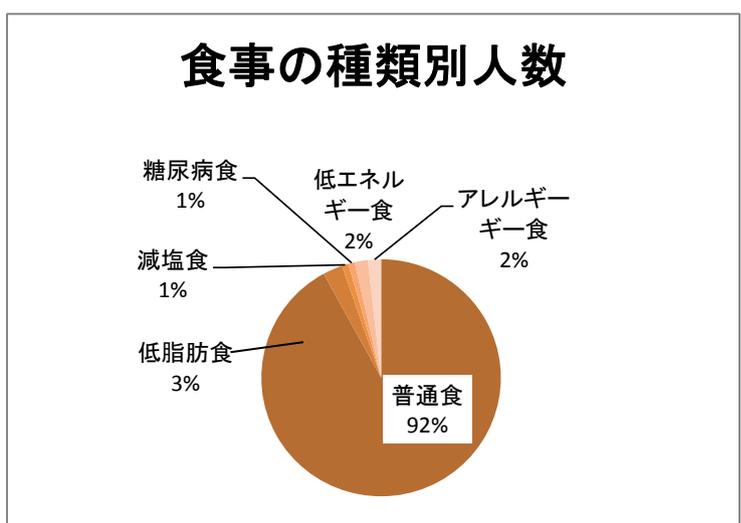
(単位：人)

区分	普通	一口大	きざみ	超きざみ	ミキサー食	ソフト食	計
人数	65人	19人	19人	12人	1人	1人	117人
割合	56%	16%	16%	10%	1%	1%	100%



(3) 食事の種類別人数

区分	普通食	低脂肪食	減塩食	糖尿病食	低エネルギー食	アレルギー食	計
人数	104人	3人	1人	1人	2人	2人	113人
割合	92%	3%	1%	1%	2%	2%	100%



## 15 医療の状況

### (1) 利用者検診状況

(単位：人)

内 容	実施年月日	人数
内科検診	5/30 6/6 6/13 6/19 6/20	101
歯科検診	随時	125
胸部レントゲン	5月～10月1寮ずつ	89
眼科検診	7/16	86
尿検診	5/8、5/15	101
耳鼻科検診	(未実施) 10月に予定	
心電図	9/3	77
インフルエンザ	(未実施)	
検便	随時	77
乳がん検診	8/4	41

### (2) 入退院の状況

(平成26年4月～平成26年9月)

	氏名	科別	病 名	入院施設	入院月日	退院月日	転帰
1	S Rさん女性	婦人科	卵巣腫瘍手術	うわまち病院	3月31日	4月9日	軽快
2	S Nさん女性	神経内科	歩行不安定 検査目的	湘南病院	4月10日	4月14日	検査終了
3	Wさん女性	耳鼻科	左側頸下腫瘍	湘南病院	6月23日	6月25日	軽快
4	Kさん男性	内科	肺炎	湘南病院	6月26日	7月7日	軽快
5	Iさん男性	内科	肺炎	湘南病院	7月3日	7月7日	軽快
6	Sさん男性	内科	肺炎	湘南病院	7月3日	7月10日	軽快
7	S Yさん女性	内科	肺炎	湘南病院	7月30日	8月11日	軽快
8	T Hさん女性	耳鼻科	嚥下検査	湘南病院	8月13日	8月14日	検査終了
9	I Nさん女性	内科	不明熱	湘南病院	8月21日	8月22日	検査終了
10	Tさん女性	外科	大腸ポリープ切除	湘南病院	8月25日	8月26日	軽快
11	Iさん男性	外科	右下腿深部血栓性静脈炎	湘南病院	9月9日	9月17日	軽快
12	Hさん女性	内科	喘息重責発作	湘南病院	9月18日	9月26日	軽快

(3) 診療所利用状況(単位：件)

泌尿器科			脳外科			婦人科			小計			総件数			2,795			
												月合計	しらとり	本院		他院	菌科	しらとり
2	3	0	0	0	0	3	0	0	274	10	24	121	0	0	395	10	24	429
1	2	0	0	0	2	2	0	0	279	13	11	147	0	2	426	13	13	452
0	4	0	0	0	0	0	0	273	22	15	111	0	1	384	22	16	422	
0	4	0	0	0	2	0	0	320	37	16	190	0	0	510	37	16	563	
0	3	0	0	0	0	0	0	251	14	21	127	0	0	378	14	21	413	
0	4	0	0	0	0	0	0	218	17	19	133	0	1	351	17	20	388	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	20	0	1	4	1	5	0	2	1,615	113	106	957	0	4	2,572	113	110	
23			6			7			1,834			961			2,795			